
しろはく活動記録

古地図と城の泉 第12号 改訂号

追悼 角田誠氏 昭和52年淡路城館跡調査報告

平成26年12月1日

しろはく古地図と城の博物館 富原文庫

城郭現地調査報告及び資料調査

博物館事業報告

1・城郭談話会さんの角田誠氏追悼号掲載予定の原稿です。

追悼 角田誠 その無念を思う

しろはく古地図と城の博物館富原文庫 代表富原道晴

角田君は昭和41年5月に日本城郭近畿学生研究会に入会され、当時は六甲学院高校3年で中世城郭に関心を持っていたようです。後に大阪大学から、三菱電機に就職、近畿学研では小生のあと、昭和44年4月に第3代会長に就任しています。機関紙城春は13号から、いきなり最近世城郭を自らの著作で特集しています。おそらくこれが彼の近代築城遺蹟研究の芽生えかと思います。当時の体制は会長角田誠、編集長松岡利郎で、昭和45年4月に川越康充に引き継いでいます。彼は17号で休止宣言をしている城春を昭和46年12月18号まで、おそらく卒業後も会長代行として支え、昭和47年から下中会長、崎田編集長に引き継ぎ、昭和50年25号の最終号で再び、最近世城郭をまとめています。つまり彼は約6年間、近畿学研を支えてくれたことに成ります。当時はベビーブームの最盛期で進学、就職とも苦難の時代で、中学は校庭にプレハブが2階建てで立てられ、1学年24クラス、1クラス60人という状況でした。小生も退任後、就職に翻弄され、彼の支援は出来ていません。ただ、熾烈な就職戦線の中で、彼も城を職業として選択せず、一般企業に就職しました。そして、40年、お互いに企業人として、全知全霊を尽くし、卒業、その間彼が小生の勤務先サカティンクス本社に仕事で来社されたときは驚きでした。

小生がそうである様に、彼も企業人卒業後の城郭人生に夢を見ていたと思うと、無念でならなかったと思う。小生は彼の死後、たまたま、近代築城遺蹟研究会の報告書『由良要塞』の存在を知り、各位の協力ですり着いたのが彼であった。その活動を全く知らなかった。『舞鶴要塞』は未入手であるが、由良要塞3冊は関係者からご寄贈いただいた。拝見すると小和田哲男の日本城郭協会、西ヶ谷泰弘の城郭史学会、八巻孝夫の中世城郭研究会、池田誠の戦乱の空間、向井一雄の古代城郭研究会、中井均の織豊城郭研究会、城郭史料学会等日本を代表する研究会の穴を埋める時代を追求されていた。これからという時の彼の死は彼が手がけた戦争遺跡といわれる近代築城遺蹟研究に多大の影響があると思われるが、城郭談話会や同行の方々によって継続されることを望みたい。

昭和52年小生は30歳、彼は29歳で、谷口氏、榎倉君、中井君5人で淡路城館址踏査計画を実行した。日時は2月11ー13日、対象は淡路の中世城郭と最近世城郭であった。小生の手元に調査記録として、高崎台場跡現存遺構図、白浜台場跡現存遺構図、岩屋松帆台場跡現存遺構図、白洲城跡、岩屋城跡、志知城跡、感応堂城跡、高木城跡、養宜館跡、炬口城跡、湊城跡の縄張図と2月12日発見した高崎台場の『たのたんば』人名刻印拓本を保存している。当時は石垣刻印調査部会、後の築城史研究会に所属していた関係で刻印には精通していた。これらの原稿は未発表のままであるが、角田君の追悼ファイルに高崎台場の1995年の調査図が発表されていた、彼は1977年の調査にも参加してくれた。小生にとっては、就職後、金沢転勤までの西宮在住時代最後の調査であった。此の時は誰も図面を取っていなかった幻の調査記録となる。これらは富原文庫蔵「文久3年由良浦高崎砲台之図」徳島藩作成（砲台平面図、断面図、備砲「文久3年岩屋浦松尾（ママ）砲台図」（陸軍省明治5年城郭存廃絵図）とともに、出来るだけ早い機会に彼の追悼の為、しろはく活動記録「古地図と城の泉」に於いて、公開したい。一時期、東京湾海堡クラブに所属、海上から海堡を視察、品川台場を含めて全国の幕末築城は小生の守備範囲でもある。

最後に同じような人生を過ごした彼に同化し、その冥福を心から祈りたい。

2・昭和52年1977年西宮在住時代最後の淡路城館調査記録

スキャナーが思うように使えず、カメラ入力となりました。由良台場や松帆台場古絵図、明石海峡海深調査図、天保山台場等幕測量方調査絵図、当時由良台場新発見石垣刻印「たのたんば」拓本は来年5月連載中の「城と地図」として、地図情報センターさんの「地図情報」に撰海防衛絵図を紹介する際に掲載します。松帆台場については、陸軍省城絵図松帆台場絵図現地調査として、平成20年台にも調査しています。その際は台場土塁上に保養所が建てられていました。昭和52年の調査図は建設前の現状図となります。ちょうど年齢的に30歳、関西では中世城郭調査の黎明期で今更公表という感もありますが、角田君も参加していたので、彼の冥福を祈り掲載します。

当時の記録

淡路城館址踏査計画書

日時 昭和52年2月11日ー13日（祭・土・日）

参加者 谷口義澄・角田誠・榎倉充造・中井均・富原道晴

交通機関 乗用車1台 明石フェリー利用

宿泊 西淡町阿那賀丸山 民宿 丸一 07993-9-0625

集合 2月11日AM7時半 国鉄垂水駅西口南側 8時50分フェリー乗船予定

帰着 2月13日PM4時半 岩屋発明石フェリー

松尾松尾台跡遺構圖

昭和五十二年二月一日作成

五洲石

明石海峡



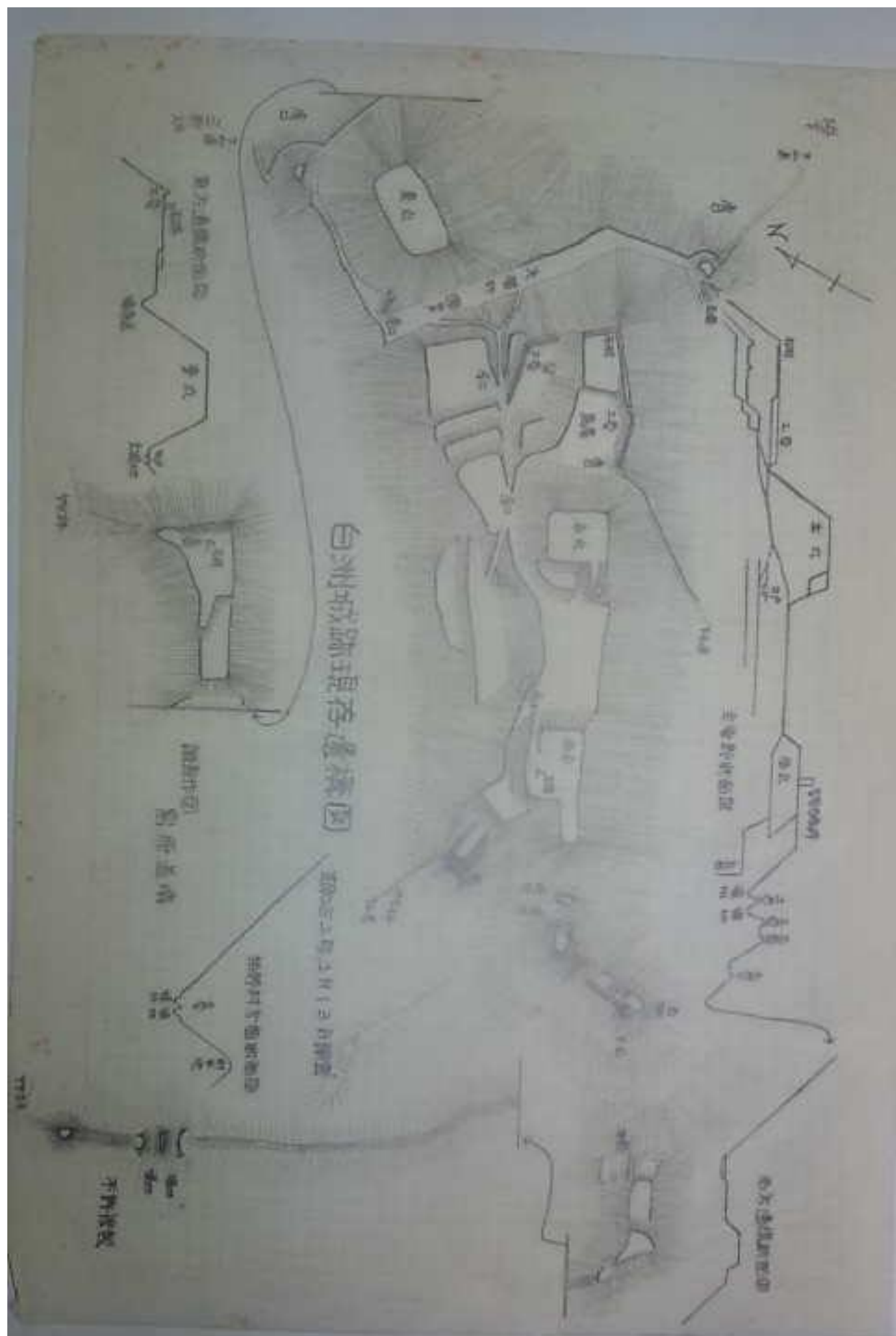
明石川
明石川



此處一經考察，即知此處為松尾松尾台跡之遺構，其遺構之範圍，約在松尾松尾台跡之範圍內。

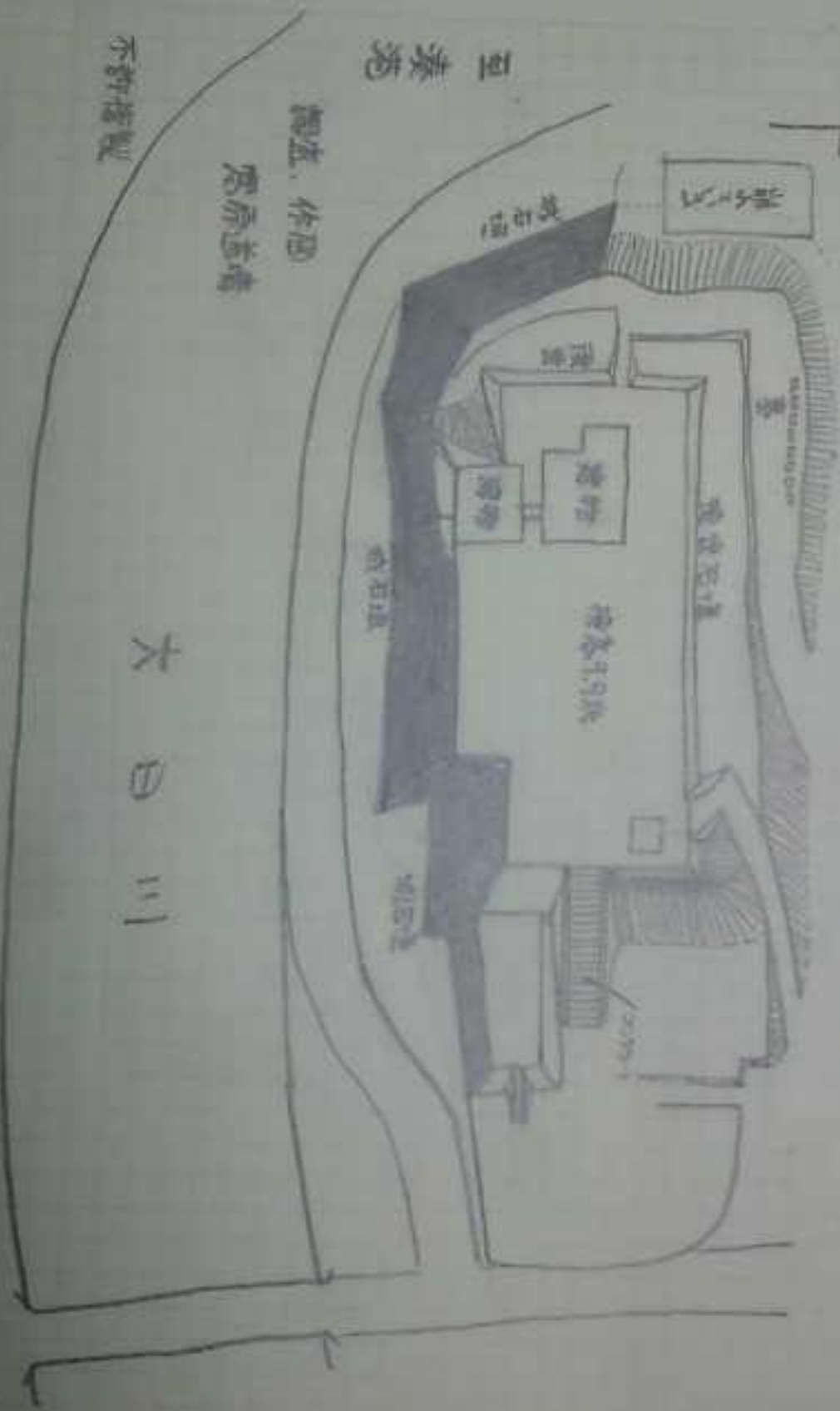
松尾松尾台跡（松尾松尾山）
遺構之範圍，約在松尾松尾台跡之範圍內。

不詳遺構



感心堂城跡現存遺構圖

昭和52年2月12日調査



不詳橋脚

窓形遺構

櫓座、作隠

至妻港

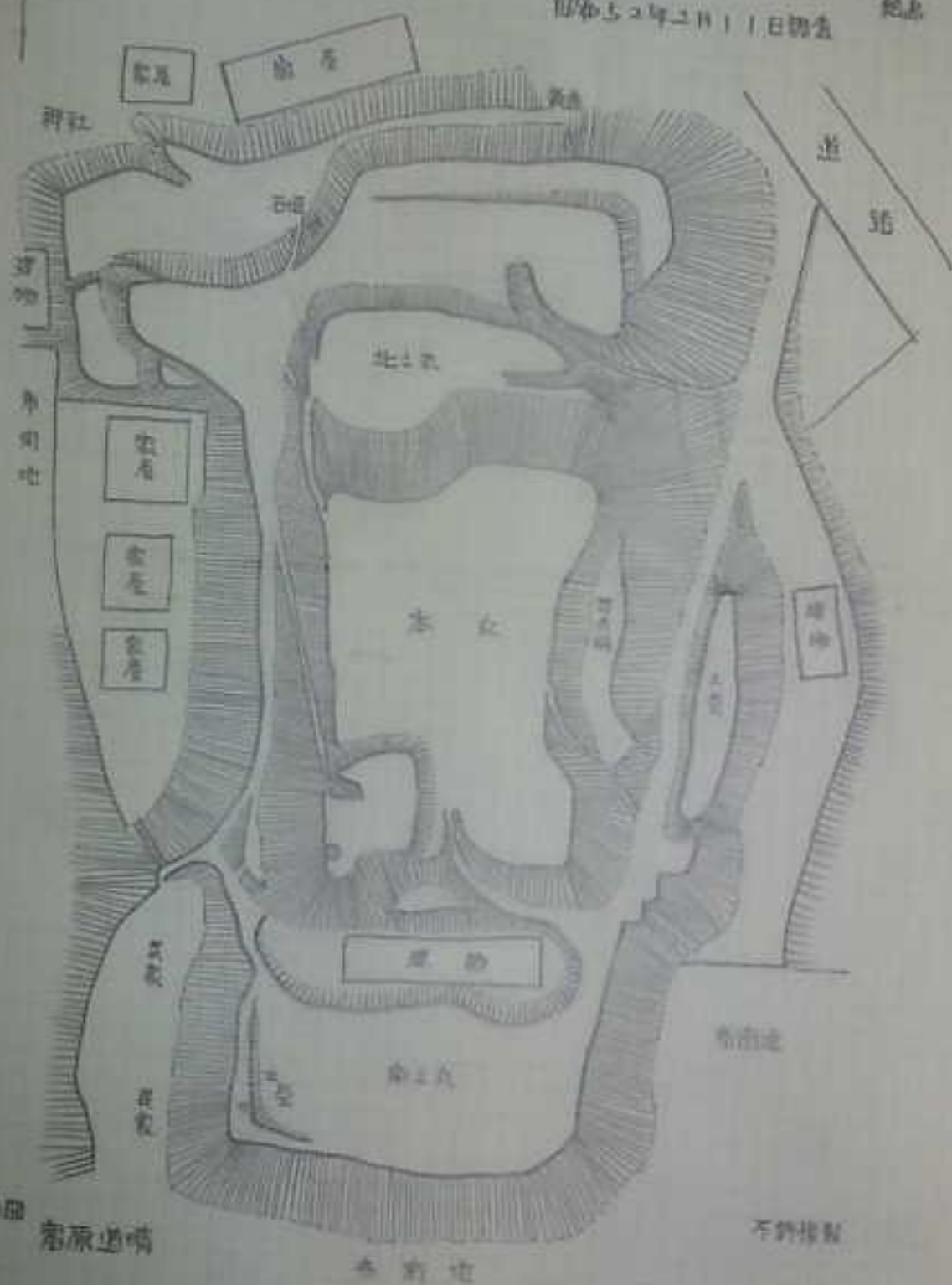
大田川



岩屋城跡現存遺構圖

昭和五十二年三月十一日調査

総点



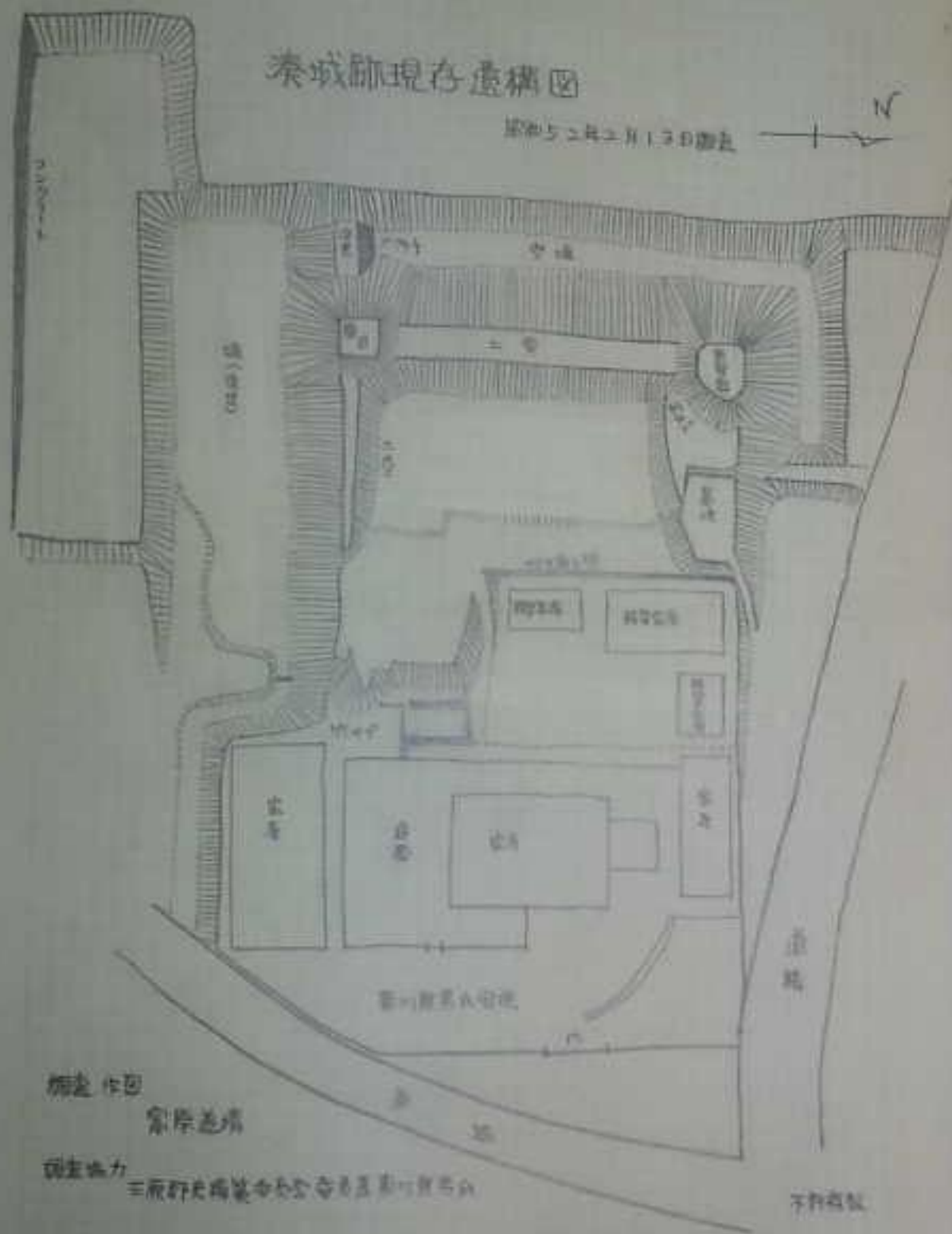
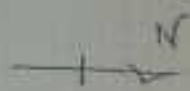
調査、作成

岩原道晴

不詳推定

秦城跡現存遺構図

昭和五十二年二月一日撮影



撮影 作田

家岸道清

調査協力

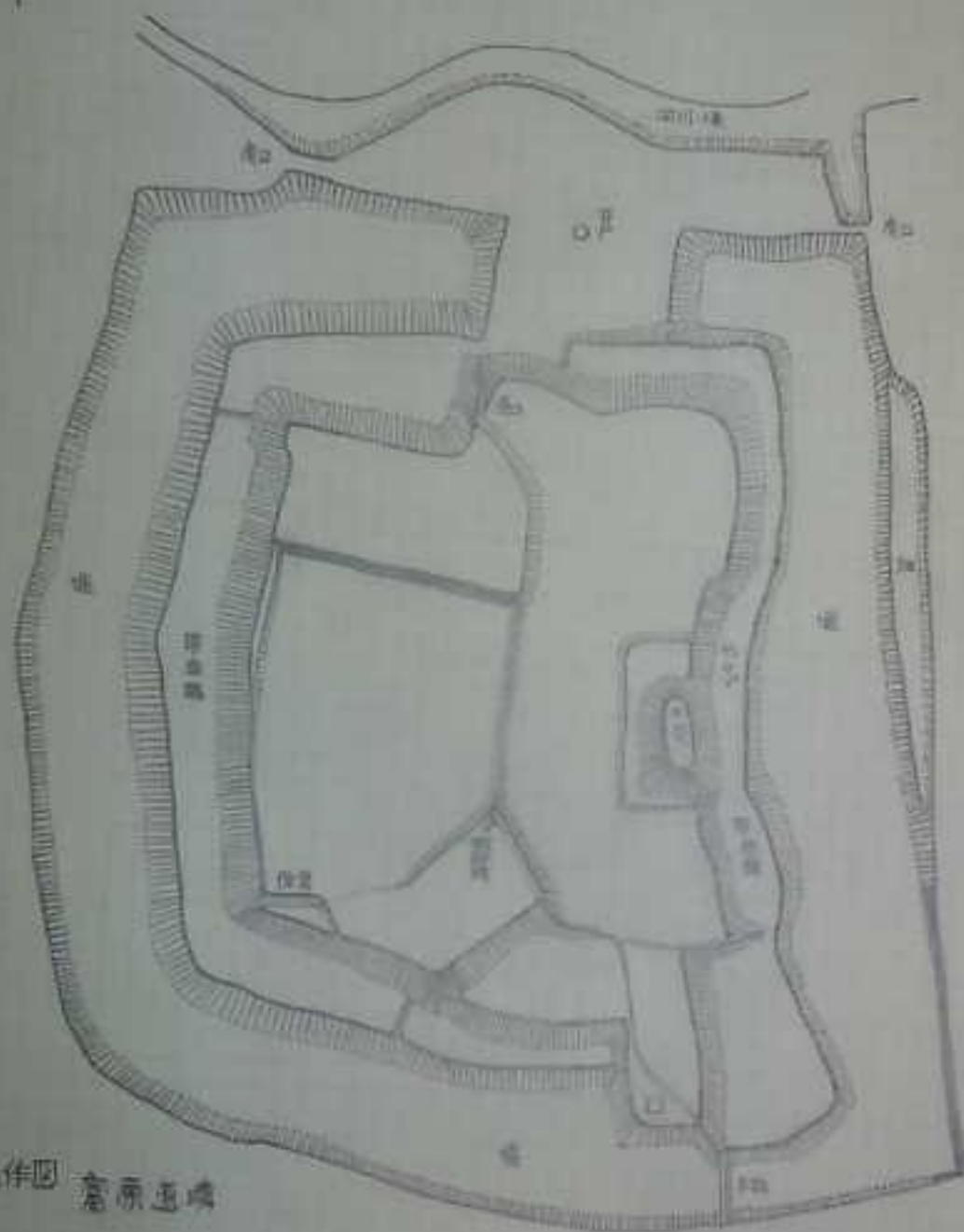
三原野史稿纂修会 奈良県教育委員会

不詳記載



志知城跡現存遺構圖

志知城跡現存遺構圖 昭和52年2月12日調査



繪畫作圖 意原通曉

不計復報



高木城跡現存遺構図

昭和52年2月12日調査



本城跡は田地中に倉基壇を成し、堀跡と基のあき部を築造するのみで、堀地草所収田より多し。建設は城地面を築きこゝろと基のあき。又、古田に築る基壇より所あり、堀地草所収田より多し。建設は城地面を築きこゝろと基のあき。

養宜館跡現存遺構図

昭和五十二年二月一日撮影

南西方位

東側方位

参考

本館本館正面2500余、長さ約1770.780、
山を穿て「地蔵」の、その外周壁は、(相定年表等)



北

炬口城跡現存遺蹟図

昭和十二年三月一日

炬口城跡

二ノ丸

三ノ丸

四ノ丸

五ノ丸

六ノ丸

七ノ丸

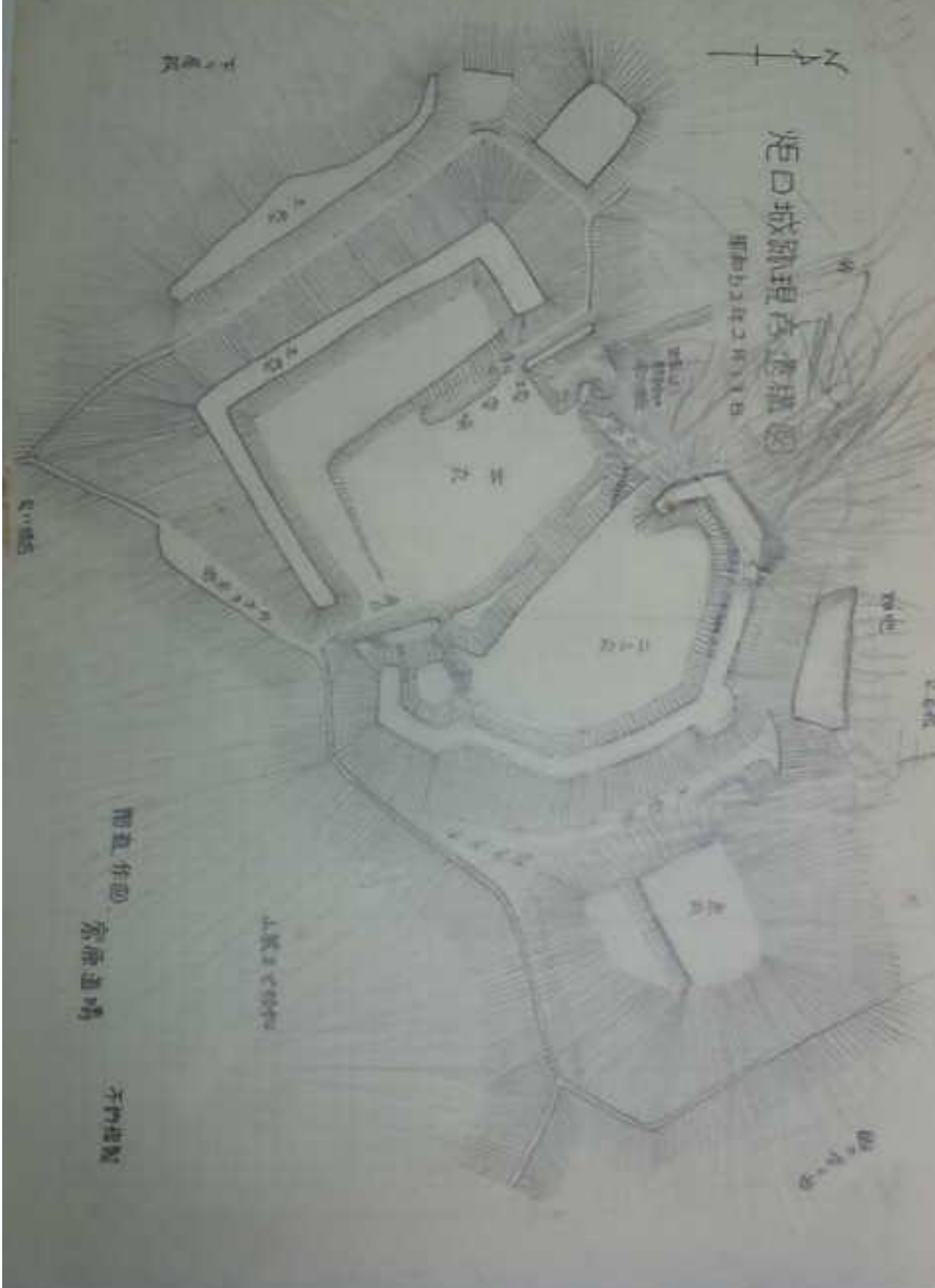
八ノ丸

九ノ丸

十ノ丸

十一ノ丸

十二ノ丸



3・東京の古典籍展観大入札会に参加 11月14－17日

年2回の大入札会に参加、特に目ぼしいものもなく、前後の予定も押しており、欠席のつもりであったが、目録の紀淡海峡絵図が白黒写真で見づらく、要塞が描かれているか、確認のため上京した。実物を見ると入札せざるを得なくなり、10点程、足早に入札したが、もう一つの相模国三浦浦賀上総国台場図13枚を見逃した。入札したのは合戦絵図集、鳥羽御城石垣修復一件、合戦陣取絵図、主図合結記、これは6組出ていたが、一番出来のいいものに札を入れた。樺太地形近傍図100枚、津名郡由良浦より紀州友が島まで海程図、文久3年の絵図は由良台場が描かれていたが、友が島側は要塞の記載がなく、期待したものではなかった。内務省地理局の東京実測全図15枚、旧城郭縄張図会、城州伏見大絵図、肥州亀岡古城絵図を入札した。名護屋城絵図は明治の写し、平戸城下図や水戸城下絵図も城下町図は対象外、淡路国図も要塞部分は所蔵済、島原城攻め図はより詳細なもの2枚所蔵済み、彦根絵図も所蔵済み、金沢図木版も魅力を感じず、御江戸切絵図薄葉30枚も辞退、予想通り、感激するような絵図はなかった。最低落札価格が10万とあっては、入札に躊躇するが、売買出来ない資料も多いと予想される。短時間で判断し、会場を後にしたが、もっと見るべきかと反省。16・17日の開札には立ち会えなかったが、後日の連絡による落札品は以下の通り。紀淡海峡絵図は入手できませんでした。次回から、全国博物館の入札、相談にも対応します。

大坂柳瀬関ヶ原戦場図

旧城郭縄張図絵全

式部卿法印鎮信公御縄張肥州亀岡古城郭図(平戸城絵図)

以上3点詳細、新収目録に後記

4・第8回安中市秋間みのりが丘文化祭に参加 地方史、絵画、版画、着物グッズ

地域振興のため、文化祭に参加、周辺の方と親睦を深めた。フリーマーケットでは自性寺焼陶芸作家の青木先生が来場され、赤城山や妙義山の油絵、版画をお求めいただいた。わずか600戸の新幹線安中榛名駅前住宅街であるが、版画家や金継等多彩な才能の持ち主に驚いた。会場の集会所の大きさの制限もあり、開催規模には難点が、いろいろ配慮いただいた。

4・12月11日－14日平和島古民具骨董まつりに参加、全国古地図、錦絵

5・1月9日－12日は東京ビックサイト骨董ジャンボリー 全国古地図、錦絵

この2つは日本最大の骨董市で全国の業者が集まり、世界中からコレクターが集まります。一面、全国から城郭資料を持ってきていただけます。

6・12月下旬発行 古書同好会目録に古典籍出展

年4回の古書目録ですが、骨董市会場に搬入できない嵩張るもの。古典籍、大型文献、古文書を掲載します。過去の目録はメールでお送りします。先着順ですが、重なると割り切らざるを得ません。

7・連載地図情報2月号城と地図第4回大坂城絵図の種々相、特徴ある絵図群

はじめに・豊臣徳川大坂城・富原文庫本豊臣大坂城本丸図・慶長19年大坂冬の陣天満口陣取図築山塹壕・富原文庫本大坂落城之図3種・大坂城丁場割図3期、3期3種・美しい完成された大坂城絵図・鳥瞰図として描かれた大坂城3幅対・江戸初期大坂城修理願絵図と江戸中期修理完成図・幕末大坂城口固絵図錦絵大坂城大火之図・まとめ

8・コレクションズ古地図・錦絵・城 コンバーテック印刷技術誌に連載開始

自慢のコレクション紹介の第1号は吉田初三郎の新発見原画「木曾川流域発電鳥瞰図」とした。この絵巻は絹本で、印刷図も発見されていない幻のパノラマ絵図である。保存が極めてよく一般の原画のように焼けていない。制作時の色がそのまま残されている。掲載後紹介したい。

9・日本唯一の古地図と城郭の専門古書店、城郭文庫

古書組合に入会して、ちょうど1年になりました。東京始め各地の組合定例会に参加して、入札や競りに参加していますが、**日本唯一の城郭専門店**ということで、組合の紹介で全国の研究者から城探究書の紹介をいただきます。確かに、整理できずに重複している城郭文献は数万冊に及びますが、今、販売されている文献を置いているわけではありません。非売品の報告書や絶版の城郭文献の重複分を並べているだけです。又、城郭文献の買取依頼も非常に多くなりました。城郭文庫という名前から。落札するたびに、**城郭さん**と呼ばれるのは快感ですが、城の資料を全部買い取るのはもはや病気としか言えません。今のところ、関西以東、東北までの骨董商、古書籍商が古地図と城のターゲットとして、認知していただいているようです。博物館敷地に建て増しすることも問題ですので、階段廊下にあふれた研究対象外の資料を処分しています。4－5万冊の重複城郭文献を所有していますが、整理できるのかは何時の事か未定です。来所いただければ、一望にはできます。問い合わせには対応しています。今回から特別価格頒布を開始しました

新収集情報報告

掲載は入手順に入手後、翌日に記載しています。メモ代わりの備忘録ですので順不同です。

掲載分類は城郭図、城郭錦絵は城郭、群馬地図、資料は群馬、錦絵地図は錦絵、地図類は航空写真も地図、錦絵軍事、砲術、調練は軍事、後はタイトル通りです。

1・古絵図・古地図

近世地理学日本之部 松島剛 明治24年 折込図18枚 石版

大日本分国余地全図第1号 明治10年 宮脇通赫著 銅版色刷 97 x 152 cm 関東静岡山梨地方

洛中洛外方角絵図 彩色絵図 39 x 41 cm

明治改正近江全国明細新図 明治27年 銅版色版カッパ刷 54 x 77 cm

最終上呈版伊能図集成大図小図 柏書房 1999年 48 x 65 cm 箱入り 51図65 x 96 cm

栃木県大宮村全図 昭和10年 非売品 帝国市町村公文製図社 軸装 129 x 272 cm 手彩色 3000分1

栃木県国府村全図 昭和11年 非売品 帝国市町村公文製図社 軸装 171 x 255 cm 3000分1

日本全国パノラマ地図第1巻東海道 大正10年 清水吉康

富士箱根土図 33 x 27 x 高さ6 cm 20万分1 昭和5年地形図による模型

地図類一括 5万分1地形図102枚・20万分1地形図3枚・妙義山登山案内図・大阪市街地図大正11年・南洋地図・昭和21年頃県地図46枚

地球を平面に見る略図 銅版色刷 春翠四方茂平先生病氣故石田旭山助刀 22 x 28 cm

新竹州管内図 40万分1 36 x 54 cm

桐生水道布設平面図 昭和7年 77 x 96 cm

道中図 明治13年 木版色刷 36 x 153 cm

大日本諸国細見絵図 明治14年 銅版色刷 36 x 160 cm

豆州熱海全図 明治20年 銅版 37 x 51 cm

沼津市全図 昭和13年 46 x 62 cm

上尾町鑿泉耕地整理組合整理確定図 昭和28年 3000分1 色刷 76 x 108 cm

房陽野嶋ヶ崎真景 明治15年 木版 42 x 57 cm

豆州熱海改正全図 明治30年 銅版 37 x 53 cm
 第五回内国勸業博覧会明細図 木版色刷 明治36年 39 x 54 cm
 利根川水力株式会社水路平面図 戦前 20万分1 39 x 49 cm
 御嶽山立体地図 くにかマップミニ立体地図 175000分1 比高1対1
 科学万博つくば85開催記念航空写真集茨城県 1983年 308頁 茨城新聞社
 鹿島郡造谷村全図2枚 明治22年大谷村昭和30年旭村平成17年鉾田市に合併された。 5
 里1間実測図 肉筆 130 x 250 cm 140 x 250 cm 明治頃測図
 高野山真景大全図並二一景 明治33年 49 x 74 cm
 陸中一ノ関市街及絵入名所図 明治23年 銅版 袋付 27 x 38 cm
 信濃木曾御嶽山明細全図 大正12年 54 x 64 cm 地図色刷・風景17景
 山中町市街地図 青焼き 2000分1 戦時中の防禦団配置図 40 x 96 cm
 満鉄所管鉄道略図 昭和11年 南満州鉄道株産部資料室調整 35 x 52 cm
 明治測量見本 木版色刷 3枚 町・港・村
 初三郎鳥瞰図富山県 昭和11年
 日本商工業別明細図新潟市 54 x 75 cm
 広嶋市街新地図 明治38年 銅版色刷
 軍事機密要塞近傍図 由良要塞近傍10枚・鳴門要塞近傍1枚 旧版地図複製 1万分1
 宇都宮市街附近図 昭和15年 外題宇都宮全図
 最新実測宇都宮市街及附近図 大正13年
 仙台市全図 大正4年
 南蛮紅毛日本地図集成 昭和50年 大型本 鹿島出版会 10万円
 大日本国郡輿地全図 嘉永2年 高柴英三郎 木版色刷 72 x 144 cm

2・古文書・古典籍

更級郡四ツ谷村明治20年測量野帳等古文書 明治19年現地目取調委任状等2点・明治20年
 本書及野取図面控13冊・脱落地編入願等3冊・丈量誤謬訂正願3冊・現地目毎調帳3冊・その他
 10冊・22点 34冊余

3・印刷資料

亜鉛版 古地図、刷り物絵柄のみ67枚

4・錦絵・引札・双六・絵葉書

錦絵 朝鮮豊島海辺二於ル日清海戦我軍大勝利之図 清親 3枚続き
 錦絵 温故東の花旧正月元旦諸侯初登城ノ図 周延 3枚続き 江戸城 明治
 錦絵 銀婚大典之御儀式 延一 3枚続き 江戸城 明治27年
 錦絵 京都上洛二條城出門之図 東州勝月 3枚続き 明治22年
 錦絵 新撰太閤記 豊宣 秀吉、信長に狩場で謁見 2枚続き
 錦絵 新撰太閤記 豊宣 秀吉稲葉山城攻め 2枚続き
 錦絵 新撰太閤記 豊宣 浅井朝倉と姉川に戦う 2枚続き
 錦絵 東京九段坂上招魂社定燈之晴景 芳藤 江戸城 3枚内2枚
 錦絵 東京日本橋繁昌之図 芳虎 江戸城遠景 3枚内2枚
 錦絵 新橋鉄道蒸気車之図・東京銀座煉瓦石繁栄之図 3枚内2枚
 錦絵 相撲版画 境川梅ヶ谷 3枚内中央1枚
 錦絵 武田上杉川中島大合戦図 3枚内2枚 国芳

5・軍事資料・武器武具

横須賀海軍船廠史第三卷 明治21—30年 大正4年 横須賀海軍工廠 和装本 写真入
信州川中島五戦記 上下2冊 写本

御在京諸大名方御旅館附 瓦版 木版 23 x 33 cm

瓦版 将軍上洛時幕府要職名鑑 木版 32 x 46 cm 御政治総裁職・京都守護職

阿波津流秘伝書 柔術 天保9年・天保14年 谷勝易 同一内容宛先年号違い2巻

歩兵13連隊兵營之図 明治32年 石版

文献 鉄砲伝来とその影響洞富雄・武器と防具日本編・図説古銃事典・東アジア兵器交流史の研究・

6・城

甲府城絵図 99 x 113 cm 彩色詳細絵図

大坂柳瀬関ヶ原戦場図

道明寺表御陣所絵図河州道明寺代官辻利隆2枚・慶長19年11月16日丑刻城より蜂須賀手方夜討絵図・冬之陣穢多城伯楽淵仙波図・冬御陣鳴野図・夏御陣泉州檉井図・夏御陣図・冬御陣図・大坂惣図・慶長19年5月6日道明寺合戦図・大坂夏冬御陣図・大坂御陣図・柳瀬古戦之図・濃州関ヶ原戦場図（尾州名古屋安藤玄中所蔵、享和元年1801年小杉玄民写）

A3アトラス 彩色絵図集 大型絵図は繋ぎマークにより模写

旧城郭縄張図絵全

29城のA3アトラスであるが、主図合結記にない絵図が含まれる。

勢州桑名・勢州長嶋・勢州久居・三州岡崎・三州西尾・三州刈谷・三州吉田・三州田原・遠州掛川・遠州横須賀・遠州小山・遠州浜松・駿府御城・駿州興国寺・駿州江尻古城・駿州田中・駿州田中縄・駿河久野・甲州府中・甲州古府中古城之図・甲州新府城・甲州郡内岩殿古城・相州小田原・相州延澤・武蔵江戸御城・武州川越道灌縄・武州岩槻・武州忍・常州水戸

式部卿法印鎮信公御縄張肥州亀岡古城郭図(平戸城絵図)

元禄16年1703年烏城恭斎写文政12年1829年原有胤写 松浦鎮信、山鹿素行による元禄17年1704年築城、宝永4年1707年完成の**平戸城設計図**である。

鶴山城沿革記 明治35年2月 百済市郎編號 細密肉筆原稿

会津城堡館柵奇 嘉永2年 343か所 写本

会津干城伝 上下2冊 中野義都著 寛政9年 写本

三和銀行元常務・月島機械元会長・陸軍士官学校56期生寄木正俊氏編纂城郭史料 大型私家版

幕末城主大名の「城」写真集上下2冊 平成22年11月25日 城主大名154家カラー

城郭写真集上下2冊 平成16年2月29日 上記稿本か、白黒写真集 同一のもの2組

城郭写真集上下2冊 平成16年2月 上記稿本か、カラー写真集

内閣文庫正保城絵図、佐藤佐城郭出版物コピー2冊

膨大な量の写真集である。知らない方がこれほどの城郭探訪をされているとは驚きである。

錦絵清州城修理図 貞秀 3枚の内1枚

錦絵木曾六十九駅鵜沼道節 犬山の城遠望 豊国

京師城内首善全図 木版3色刷 59 x 63 cm

広島大本営版画 富吉郎 聖地史蹟名勝四十七

図録大阪夏の陣図屏風 1979年 講談社 重要美術品大坂夏の陣図屏風6曲1双大阪城天守閣所蔵の原寸複製 貼り合わせると屏風が再現できる。 巨大な64図よりなる。解説付き 6

0 x 7 8 c m

二条城古絵図 亜鉛版 1 0 x 1 5 c m

大坂冬の陣東西配陣図 銅版 6 枚の内 5 枚

大阪城之旧図 昭和 3 年 手彩色 7 2 x 7 9 c m

姫路城図酒井家所領時代 大正元年 砂川雄健 播磨史談会

版画松本城 酒井幸男 4 0 x 5 3 c m

武田古城旧地図 明治 3 6 年 石版 今も武田神社で販売している図の古いもの

西尾城6万石天守石垣完成記念タオル 西尾城再建友の会

姫路城プラモ完成模型 ガラスケースに入り、着彩し、背景も書かれ、プラモとしては完成度が高い。なぜか、組立前の童友社姫路城プラモも一緒に

天守型酒ボトル 犬山城天守 白磁 k o y u m i t u r u 製・**彦根城天守** 彩色最上階白壁塗漏れ清酒旭日 高さいずれも 1 8 c m

斉藤直樹旧蔵江戸城資料 新聞、縄張図等 6 0 点

姫路城古写真 2 4 x 2 6 c m 未検証

皇居絵図 軸装 印刷 3 9 x 4 9 c m 木箱に君が代書

霊山城之碑 拓本軸装 6 8 x 1 3 0 c m 明治 3 1 年 白川資訓

城郭文献

由良要塞 I－III・日本戦史柳瀬役・小牧役・週刊日本の城 9 1－9 6 巻・特集特別展品川御台場・品川御台場幕末期江戸湾防備の拠点」・西尾城シンポジウム・飯山城絵図集成・比爪館跡 2 3 次 2 4 次 2 8 次 2 9 次・浜松戦国山城まつり・わたしたちの竹田城改訂版・史跡竹田城跡改訂版・黒田官兵衛と城・戦乱の空間 1 3・飯山城シンポジウム 1・2・中世城郭研究 2 8・松代藩の国絵図城下絵図町絵図・小倉城跡 II・V・刈谷城築城 4 8 0 年記念誌・天童城主天童氏・姫路城絵図集改訂版・五稜郭築造と函館戦争・ふじのくに山城セミナー・第 3 1 回全国城郭研究者セミナー・越中島砲台跡の調査成果・城郭石垣の技術と組織を探る・金沢城と伝統技術・天下普請に見る石垣技術・史跡人吉城跡 II・III・IV・V・VI・VII・VIII・IX・加牟曾宇城跡・岩崎城跡・人麻呂様城跡・角牟礼城跡・梅牟礼城跡関連遺跡・慶光坊遺跡堀越城跡・玖島城跡・尻無城跡・高鍋城跡・末近城跡・八幡浜元城跡・米の山城跡 I II III 猿返城跡・鹿児島城二ノ丸跡遺構編・遺物編・伊倉城跡・串木野城跡・曾我城跡・史跡棚底城跡保存管理計画書・高橋城跡 I・II・油須木城跡・沖城跡・羽庭城・長泉鼻砦跡・平家ヶ城跡・三城城跡範囲確認調査報告書・権現山城跡権現山石切場跡・史跡中村城跡保存管理計画書・尼ヶ古城跡・松尾城跡・鷹ノ原城跡今古閑城跡・金石城・郡山城跡周辺遺跡・日出城本丸跡・唐津城跡 III・知覧城跡保存管理計画策定報告書・内牧城跡・曾我城跡・遠江国殿谷城址調査報告書・小倉城三ノ丸跡第 3 地点・鹿児島城二之丸跡 G 地点・小倉城代御蔵跡 I・古慈喜城跡・高知城伝下屋敷跡・山野城跡・梅牟礼城跡・稲村城跡・石田城跡・建昌城跡・高祖城・松崎城跡・天ヶ城跡上下・備前周匝茶臼山城址・日輪城跡・横武城跡・硯山城跡・今岡城跡・府内城三ノ丸北口跡・矢上城跡・佐敷城跡・史跡佐敷城跡保存管理計画書・内城跡・別府城跡・史跡松江城石垣修理報告書・高木城跡・知覧城跡保存整備基本計画報告書・本城跡・高江城跡調査概報・日野江城跡・須屋城跡・小坂向城山城跡・阿志岐城跡 II・福原城跡・俵崎城跡・福嶽城跡・上野城跡・田中城跡 I－1 7 集 1 6 冊・日本名城画集成・城郭談話会 3 0 周年記念誌・戦乱の日本史 9 冊・歴史 R E A L 織田信長の城・日本城郭史・日本城郭大系城郭研究便覧・江戸時代の制度・田中城跡 II・よみがえる兵庫津・史跡「松山城跡」内県民館跡地・中世宇和の山城 2 西園寺氏関係古城配置図・高松城跡（松平大膳家上屋敷跡）・石那田館跡・検証比企の城・城郭史研究 2 3－3 3 号・東京都江戸東京博物館研究報告第 1 2 号シンポジウム江戸城と丸の内・1 4 号シンポジウム江戸城研究の

新視点・日本名城集成大坂城・江戸城・名古屋城・城C A S T L E S・城と古戦場・豊臣秀吉の居城大坂城編・聚楽第伏見城編・江戸城障壁画の下絵・図説再見大阪城・図説中世城郭事典Ⅰ・Ⅲ・物と人間の文化史城・蘇る戦国城下町一乗谷朝倉氏遺跡・甲州流兵法・北條史料集・

九州の某教育委員会所蔵報告書が古書店に千冊以上引き取られ、うち200冊余り、城郭のみ重複を含めて買い取った。各地教育委員会で報告書の保存が出来なく、処分される例が多い。非売品と言いながら、不要なところに配布するのであれば、研究者に有償配布していただきたい。しかし、日々の研究の進歩には括目である。歴史、周辺遺跡、縄張の変遷等研究されているものも多い。中でも、三重大学の藤田達生氏の「天下統一と城―安土城に見る信長の政権構想」、北九州歴史資料館の中西義昌氏の「縄張り研究の独自性と新しい城郭研究が目指すもの」は久しぶりに素晴らしい感であった。城郭史料学会、中世城郭研究会等城郭研究の飛躍的な進展に浦島太郎の感を覚えたが、一方、城と名のつく大部の報告書で、遺物の写真、実測図で縄張図のない報告書もいまだに存在する。城を論じるに軍事史の視点がなければ城の報告書といえるのか。報告書には縄張図の添付を義務付けるべきかと思います。城遺跡とあり、城跡とあるも、城が全く記述されていない報告書も、城下町の一部でありながら、城郭報告書と題するもの。期待はずれも多い。

7・群馬郷土資料

松井田紺屋町金井写真館・上毛原市碓氷写真館山本祝三撮影写真 大型写真4枚 補陀寺・松井田小学校建築中写真2枚・山本覚馬集合写真（福島県立博物館確認中）

季刊群馬風土記 60冊 群馬出版センター 上州の合戦等城記事多し

上野国輿地全図 村上吾雄 木版色刷 江戸版

高崎市全図 昭和22年 91x108cm

8・資料

江戸名所図絵7巻之3 霞が関・溜池・麻布・広尾・鷺森・白金・太鼓橋・蛸薬師・目黒等絵図 木版

名勝古蹟常山総水 明治41年 茨城地誌古城多数

信濃奇勝録 昭和17年復刻 和装本

9・城郭文庫特別価格本

本紙読者メールのみ受注 送料別 メール受注・送本・送本後郵便振込送金 本紙読者以外は入金後送本となります。 在庫切れは返信します。

日本名城画集成 荻原一青 定価48000円 32x42cm横本 鳥瞰図中心全国109城絵図収録 **特別価格18000円**

図録大阪夏の陣図屏風 1979年 講談社 重要美術品大坂夏の陣図屏風6曲1双大阪城天守閣所蔵の原寸複製 貼り合わせると屏風が再現できる。 巨大な64図よりなる。解説付き 60x78cm 定価18万円 **特別価格8万円**

航空写真集茨城県 科学万博開催記念 大型本 定価15000円 1983年 308頁 **特別価格6000円**

南蛮紅毛日本地図集成 鹿島出版会 定価10万円 **特別価格5万円**

最終上呈版伊能図集成 柏書房 定価8万円 **特別価格4万円**

大日本沿革実測図伊能中図 武揚堂 定価28800円 **特別価格15000円**

日本古地図大成 講談社 定価43800円 **特別価格2万円**

あとがき

37年前の未熟な調査図を掲載するのはいかななものかと思いましたが、未発表のままというのもどうかと思い、角田君の追悼を期し、公開しました。当時発表を控えたのは事情がありましたが、それは伏せておきます。

今回も現役時代以上に東奔西走し、平戸城や甲府城の絵図を手に入れました。中世古城絵図も同様です。合戦絵図や多くの城郭錦絵も市場の度に全国の業者さんが集めてきてくれます。日本全国の古地図と城絵図、錦絵は一つの流れが出来たようです。古書組合の加盟も大きな力でした。一方、城郭研究歴55年というものの、経済人としての43年間の空白は埋められません。若い人から見れば浦島太郎ですね。人にはそれぞれ役割があります。調査や研究は抑えて、未知の城郭資料の発掘と公開がライフワークかと理解しています。みなさんの御存じない城郭資料を今後しろはく双書として公開していきます。

知らない研究家の業績に触れるたびに、世界は広いと思います。その頑張りに驚きます。

発行所

しろはく古地図と城の博物館 富原文庫
379-0109
群馬県安中市秋間みのりが丘5-73
090-2722-4689(しろはく)
FAX027-315-4689(しろはく)
shirohaku@kym.biglobe.ne.jp
ミュージアムショップ
古地図と城 古書肆 城郭文庫
